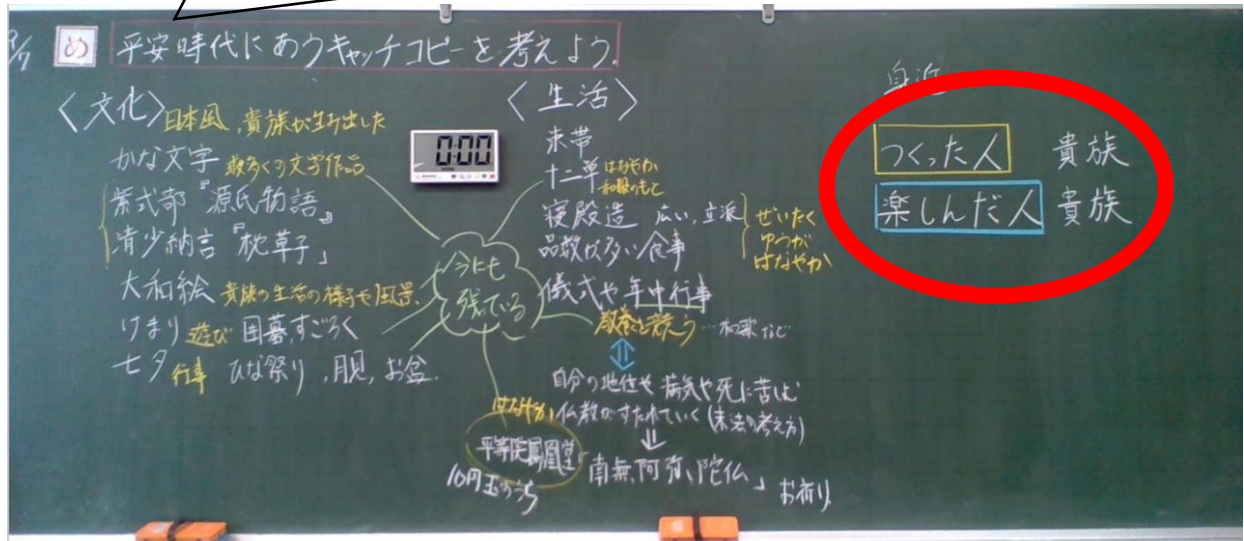




貴族が生み出した新しい文化



平安時代は、中国と交流をやめて国独自の文化をつくり出したということが分かりました。平安時代の文化が、かたちが変わっているけれど今に残っているので、私たちにとってとても身近なだと思いました。平安時代から続いている文化なので、どんどん後世に伝えていけたらよいと思いました。(児童の振り返りより)



導入で貴族の屋敷の想像図を用い、貴族が行っていたことや服装などに着目しながら、気付いたことを話し合う活動を通して、絵には表れていない生活の様子や文化について興味を高めることができました。そこから学習問題「貴族の生活や文化は、どのようなものだったのだろう」を設定し、問題解決的な学習を行いました。

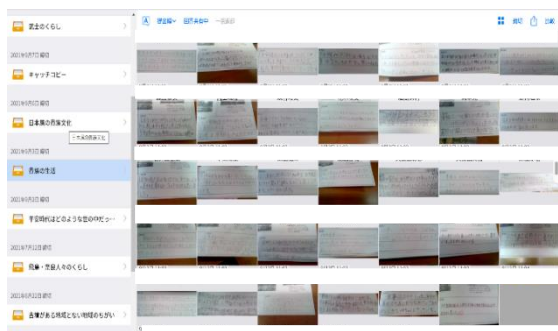
三次では、文化や生活について調べて収集した情報を整理し、全体を見てこの時代をキャッチコピーに表し、特徴を捉えることができました。また、「つくれた人」「楽しんだ人」などの視点に着目して、人々と文化との関わりを捉えることができました。今後もこの視点に着目しながら学習を進めていきます。

平

ごうかな生活だったけど 苦しみもあった中で今も残る文化ができた時代

ひらがなやかたかなができて 日本語を自由に表現できるようになり すぐれた作品が多数生まれた時代

古典的で上品な文化 ごうかで色鮮やかな生活



振り返りを書く時間を設定することで、友達と考えを共有することができるように工夫しています。ロイロノート・スクールを活用することで、いつでも友達の考えを見ることができ、学校でも家庭でも共有できます。また、授業の最初に紹介することで、前時とのつながりを大切にした授業づくりをしています。